



開発背景

僕は最近インスタ食品やファストフードを食べる機会が多くなりましたそして、友達はラーメンばかり食べていたりエナジードリンクを毎日飲んでいる人が多いです。そこで、調べてみると全国的食生活に問題がある人が多いことが分かりました。農林水産省のデータによると主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合は「ほぼ毎日」と回答した若い世代の割合は男性**33.3%**、女性**40.5%**であり、ともに他の世代に比べ低かったです。そして、食生活を改善できる既存のアプリはないかと考えました。しかし、どれも入力するものがたくさんあり毎日続けるのは面倒なものが多いです。そこで、簡単に一手間で継続しやすいアプリを作ろうと思いました。

概要



写真を撮る



ChatGPT

質問する



オンラインデータベース上に保存する



出力

主にMonaca Education・ChatGPT(GPT-4o)・appwriteを使用しました。Monaca Educationを使いアプリのプログラミングをします。appwriteではアプリを使っているときに必要なデータや写真を保存し、出力するためのものです。

本アプリはChatGPTを使い食事をより良いものにしようというものです。食事の写真を撮り質問と写真をChatGPT4oに送ります。返ってきた回答はオンラインデータベース上に保存しいつでも見返せるようになっています。

アプリの特徴

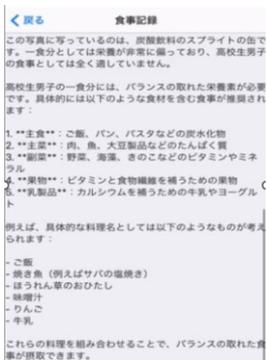
AI採点

〈実装方法〉

- 1.UI設計
- 2.カメラ機能
- 3.API連携
- 4.データ保存・表示

〈特徴〉

- 1.ChatGPTが不足している栄養素を指摘し、**ワンポイントアドバイス**をしてくれます。
- 3.過去の食事を**見返す**ことができます。



タイピングゲーム

〈実装方法〉

- 1.UI構成
- 2.単語のランダム出題
- 3.ユーザー入力判定
- 4.制限時間設定
- 5.ランキング機能

〈特徴〉

- 1.楽しく**病気や風邪**について知ることができます。
- 2.健康的な食事をすることで高スコアが取れる設定です。そのため、食事に気を付けるようになると期待しています。



掲示板

〈実装方法〉

- 1.新規投稿フォーム
- 2.掲示板表示
- 3.コメント機能
- 4.画像アップロード
- 5.非同期処理

〈特徴〉

- 1.**写真とコメント**で他のユーザーと食事を語り合えます。
- 2.**コメント機能**でアドバイスを送ったり質問できます。
- 3.他のユーザーとともに**モチベーション**を高めることができます。



その他

〈そのほかの実装方法〉

- 1.appwriteのクライアント設定
- 2.データベース操作
- 3.ユーザー情報取得
- 4.ユーザー管理

〈そのほかの特徴〉

男子と女子・年齢によって必要な栄養素や量が違うので今回は男子高校生に特化したものを作りました。

今後の展望

性別や年齢関係なくたくさんの人が使えるアプリを目指します。また身長や体重、血糖値などの体の状態とも連携させ、より具体的なアドバイスをできるようにしたいです。そして生活習慣病の人たちを少しでも減らせるようなアプリにしたいです。

参考文献

若い世代における食生活の現状

https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/wpaper/r1/r1_h/book/part1/chap1/b1_c1_1_03.html

高校生における食生活の是正対象と体調不良状況

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jhej/64/2/64_101/pdf/-char/ja